

がん免疫療法を拓いた研究者たち

科目責任者 杉 本 智 恵
学年・学期 1 学年・2 学期

I. 前 文

「がん免疫療法の誕生-科学者25人の物語」はサイエンスライターががん免疫療法を開拓した研究者25人にインタビューした内容に基づいて書かれた読み物です。本コースではこの本の中から数人をピックアップして物語を読んでいます。それと同時に、がんと免疫に関する基礎知識を対話方式で学びます。さらに生体防御研究室で行なっている最新の研究成果を紹介し、生命科学研究について学びます。

II. 担当教員

准教授 杉 本 智 恵 先端医科学研究センター 生体防御研究室

III. 一般学習目標

- ・がん、免疫、再生医学の基礎を学ぶ。
- ・医学研究者の考え方を知り、医学を学ぶことへのモチベーションを高める。

IV. 学修の到達目標

- 1) 自分の考えを自分の言葉で表現できる。
- 2) 基礎医学を学ぶことの意義を理解できる。
- 3) 医師としてのキャリアプラン、ロールモデルをイメージできる。

V. 授業計画及び方法 * () 内はアクティブラーニングの番号と種類

- (1: 反転授業の要素を含む授業 (知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。)
2: ディスカッション, デイベート 3: グループワーク 4: 実習, フィールドワーク 5: プレゼンテーション
6: その他 空欄: 該当なし)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブラーニング
1	7	8	水	5	がんと免疫について	杉 本 智 恵	1, 2, 3, 5
2		15	水	5	がん免疫療法を開拓した研究者の紹介	杉 本 智 恵	1, 2, 3, 5
3	8	19	水	5	選択した研究者の人となり	杉 本 智 恵	1, 2, 3, 5
4		26	水	5	がん免疫研究の科学的側面 (1) 基礎免疫学	杉 本 智 恵	1, 2, 3, 5
5	9	2	水	5	がん免疫研究の科学的側面 (2) 免疫療法の戦略	杉 本 智 恵	1, 2, 3, 5
6		9	水	5	がん免疫研究の科学的側面 (3) 臨床応用と課題	杉 本 智 恵	1, 2, 3, 5
7		9	水	6	当研究室の研究紹介と未来展望	杉 本 智 恵	1, 2, 3, 5

VI. 評価基準 (成績評価の方法・基準)

各回の課題と発表 (50%), 出席状況と積極的な授業への参加 (50%)

基本的には上記を評価対象としますが、当科目の選択者が多数で発表・発言機会が限られる場合はレポート課題を課すことがあります。

Ⅶ. 教科書・参考図書・AV資料

- 1) 「がん免疫療法の誕生- 科学者25人の物語」(メディカル・サイエンス・インターナショナル)

Ⅷ. 質問への対応方法

基本的に授業時間内で対応します。

Ⅸ. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針)	
医師としてのプロフェッショナリズム 幅広い教養、利他の精神、医師に求められる品格を身につけ、豊かな人間性を育み、他の医療者と協調して、多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる	◎
能動的学修能力 医学知識・技能を主体的に学び、情報・科学技術を活用して、生涯にわたって自ら問題を発見し、解決することができる	◎
地域医療の理解 地域社会における医療の役割と、その中核を担う意味を理解できる	
国際性 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し、課題解決に向けて行動することができる	
リサーチマインド 研究活動における積極的な創造・発信に挑み、医学・医療の進歩に貢献することができる	○

X. 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

各回のディスカッションの中で、フィードバックを与えます。

XI. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

事前学習：ピックアップした研究者の物語(10ページ程度)を読む、指定した課題を調べる、など授業時間における積極的なディスカッションをするための知識を整理するために各回30~60分程度。

XII. コアカリ記号・番号

PR-03-01-01

LL-01-01-01

RE-01-01-02, -01-02-01, -01-02-02, -02-01-01

PS-01-03-18, -01-03-30, -01-04-24, -03-04-25